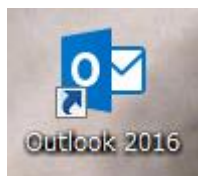


メールを設定する

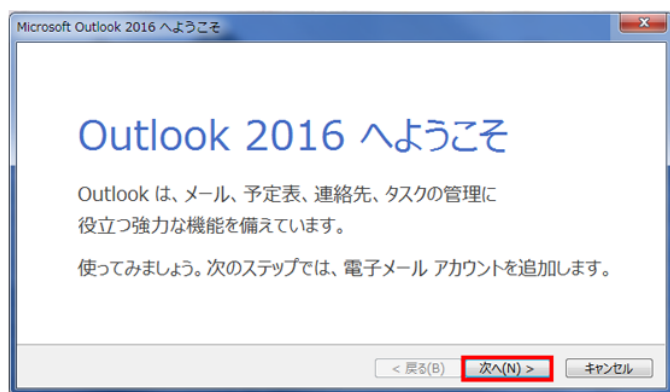
Outlook 2016 を起動

Outlook 2016 を起動します。



メールアカウント設定画面の表示 Outlook2016 は 2 パターンあります。

※ご利用の環境により表示される画面が異なります。



「Outlook へようこそ」が表示された場合

- ①メールアドレスを入力
- ②「詳細オプション」 クリック
- ③「自分で自分のアカウントを手動で設定」にチェック ON
- ④「接続」をクリック

Outlook へようこそ

メール アドレスを入力してアカウントを追加します。

メール アドレス

詳細オプション ^

☒ 自分で自分のアカウントを手動で設定

接続

準備画面が表示されますので、お待ちください。

test@sample.com を追加しています

準備しています

「アカウントの種類を選択」が表示されますので、「POP」をクリックします。



アカウントの種類を選択



Office 365



Outlook.com



Google



Exchange



POP



IMAP

今回はPOPで設定しています。

「POP アカウントの設定」が表示されます。

以下の項目を設定し、「接続（または）次へ」をクリックします。



POP アカウントの設定 test@sample.com

(別のユーザー)

受信メール

サーバー

ポート

☐ このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

送信メール

サーバー

ポート

暗号化方法

☐ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログオンが必要

メッセージ配信

☐ 既存のデータ ファイルを使用

[参照...](#)

接続

メールアドレスのパスワードを入力画面が表示されます。

パスワード入力後「接続」をクリックしてください。

※アカウント名とパスワードを入力する画面が表示された場合、

ユーザー名の「メールアドレス」、「パスワード」を両方入力。

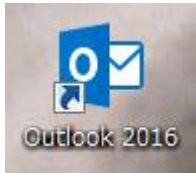
「パスワードをパスワード一覧に保存する」にチェックを入れて「OK」をクリックしてください。

完了画面が表示されます。

既存の設定を変更する

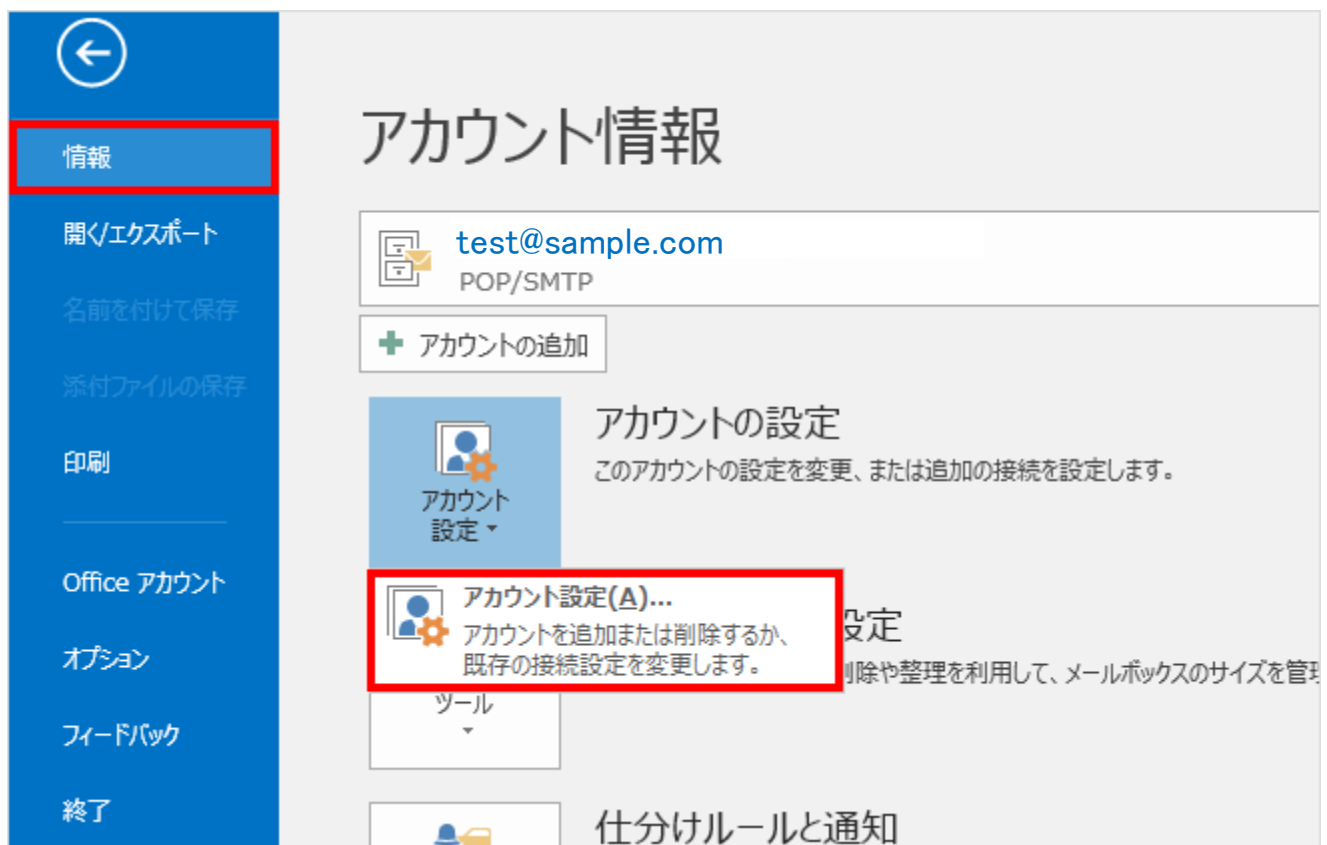
Outlook 2016 を起動

Outlook 2016 を起動します。



メールアカウント設定画面の表示

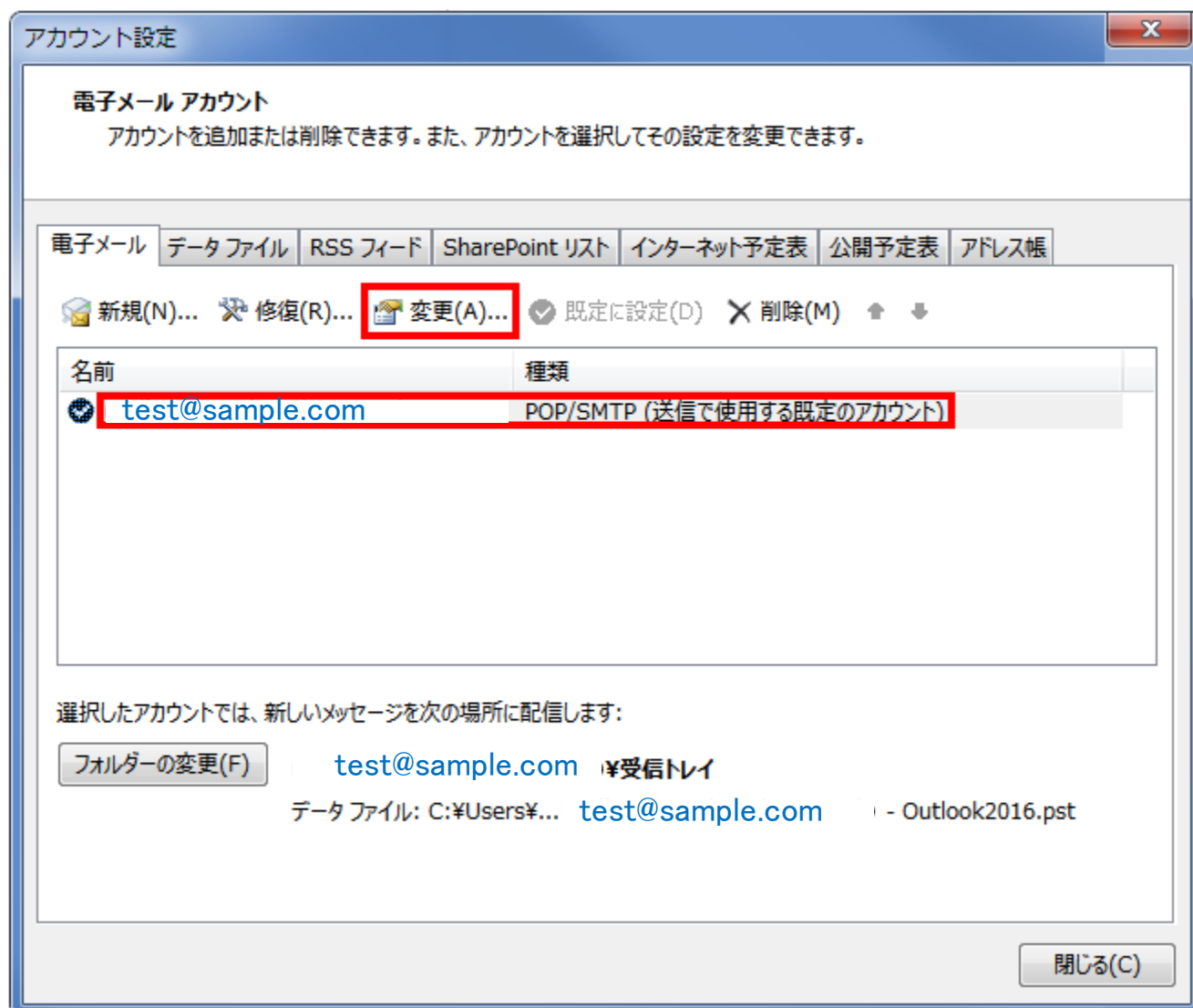
『 ファイル 』 からアカウント設定内の 『 アカウント設定(A)... 』 をクリックします。



電子メールアカウントの変更

『 電子メール 』 タブを選択し、編集する「 名前(アカウント) 」を選択します。

間違いがなければ、『 変更(P) 』をクリックします。



POP と IMAP のアカウント設定設定 画面が開きます。

変更したい項目を確認し、変更します。

※ IMAP で設定される場合は、POP3 を IMAP に置き換えて設定してください。

- ※1 「[初期ドメイン](#)」は、サーバのお申し込み時お客さまにて入力いただいたドメイン名です。「[仮登録完了のお知らせ](#)」あるいは「登録完了のお知らせ」を確認してください。
- ※2 さくらの「レンタルサーバ ビジネス・ビジネスプロ」「マネージドサーバ」をご利用の場合は、「[@以降のドメイン名（アクセス可能なドメイン名）](#)」を入力してください。
- ※3 さくらの「レンタルサーバ ビジネス・ビジネスプロ」「マネージドサーバ」をご利用の場合は、「[ユーザパスワード](#)」を入力してください。

詳細設定を変更する場合は、『 詳細設定(M)... 』をクリックします。

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y):
電子メール アドレス(E):

サーバー情報
アカウントの種類(A):
受信メール サーバー(I):
送信メール サーバー (SMTP)(O):

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U):
パスワード(P):
☒ パスワードを保存する(R)

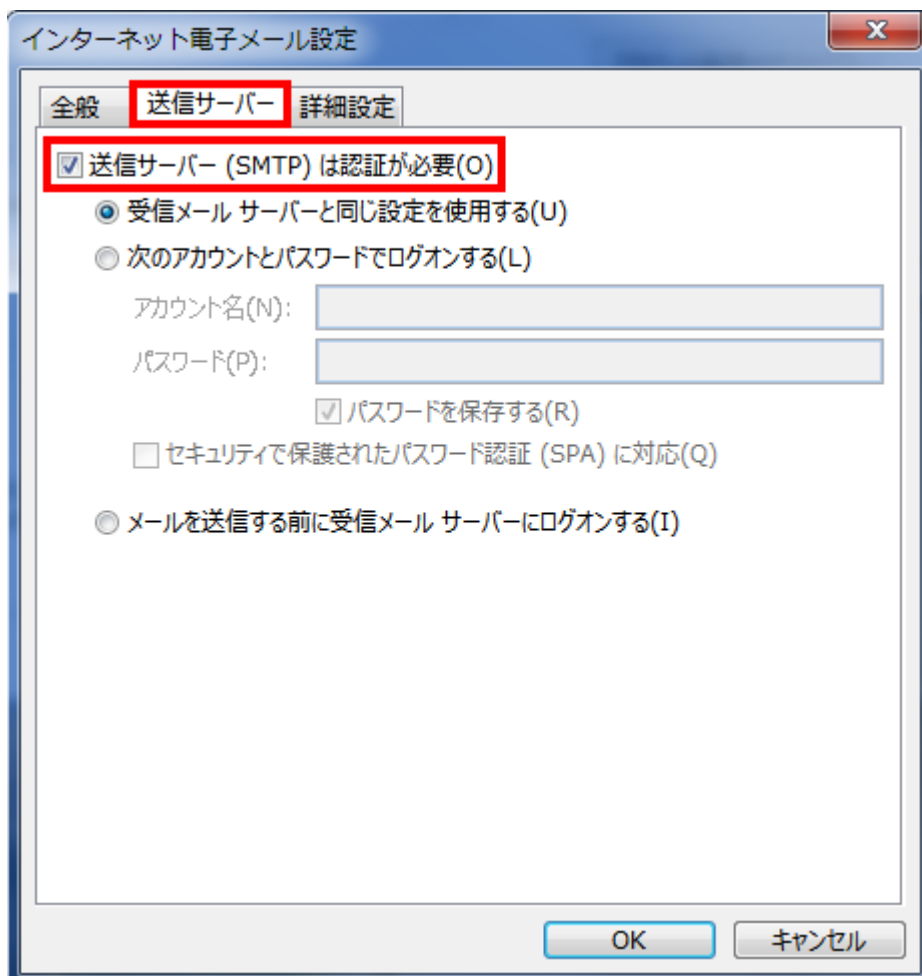
☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

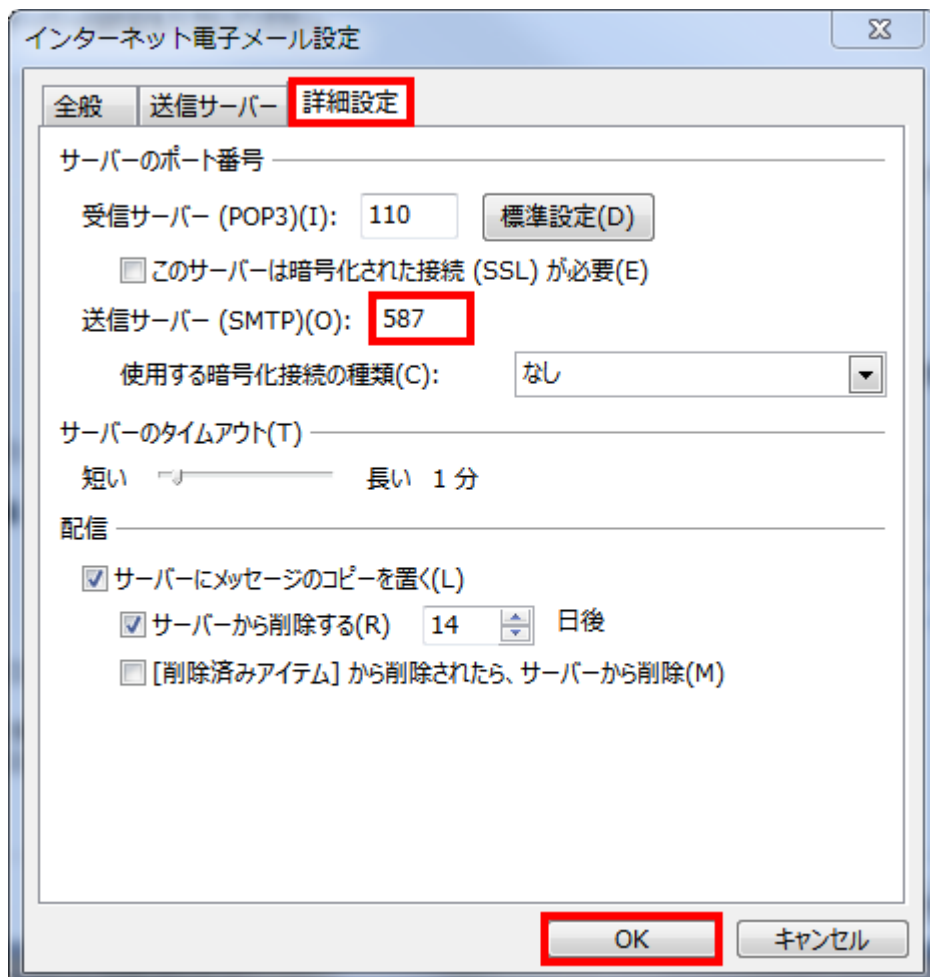
『 送信サーバー 』タブを選択し、SMTP 認証を有効にするため

『 送信サーバ (SMTP) は認証が必要(O) 』にチェックします。



『 詳細設定 』タブを選択し、『 送信サーバー (SMTP) (O): 』に『 587 』と入力し、

『 OK 』をクリックします。



注意事項

- ご利用プロバイダが、「 Outbound Port25 Blocking 」に対応していない場合は、送信サーバ情報のポート

は

『 25 』のままで送信が可能です。

『 次へ(N) 』をクリックします。

アカウントの追加

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報

名前(Y):

電子メール アドレス(E):

サーバー情報

アカウントの種類(A):

受信メール サーバー(I):

送信メール サーバー (SMTP)(O):

メール サーバーへのログオン情報

アカウント名(U):

パスワード(P):

☒ パスワードを保存する(R)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト

アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。

☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

新しいメッセージの配信先:

☒ 新しい Outlook データ ファイル(W)

☐ 既存の Outlook データ ファイル(X)

エラーなどが発生しなければ、『閉じる』をクリックします。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続行してください。

タスク エラー

タスク	状況
✓ 受信メール サーバー (POP3) へのログオン	完了
✓ テスト電子メール メッセージの送信	完了

「すべて完了しました」と表示されたら、『完了』をクリックします。

すべて完了しました

アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

別のアカウントの追加(A)...

< 戻る(B)

完了